

### 令和8年度県外学生と企業の交流機会創出業務 プロポーザル競技に係る質問事項への回答

No.	資料名	該当箇所	質問内容	回答
1	実施要領	7-(1)-キ 同様の業務の実績	過去3年で実績がない場合は、提出不要でしょうか？	実績がない場合は提出不要です。
2	仕様書全般	ターゲット学生の優先順位について	「低学年次のキャリア形成支援」を重視するのか、あるいは「卒業間近の学生の即時的なU・Iターン」を重視するのか、県としてのKPI（重要指標）の比重をお知らせください。	本事業は、多くの県外学生の県内企業におけるインターンシップ等への参加促進を目的としています。仕様書において参加学生の集客目標を設定しているほか、インターンシップ等への申込並びに参加人数の数値により事業効果を測定しています。
3	仕様書全般	過去の実施状況と課題	令和7年度までの同様の事業において、県が感じている課題や、もっと強化したいと考えているポイント（集客面、マッチング後の定着率など）はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加学生の集客面における課題として、集客増加に加え、過去2か年の取組においては申込者数に比べ参加者数が7～8割程度であることから、申込者が確実に参加につながるような対策を講じる必要があると考えています。</li> <li>また、本事業では学生に県内企業を広く認知していただくことを目的としているところ、イベント当日に企業の個別ブース（Zoom上のブレイクアウトルーム）へ説明を聞きに来た学生が0人となった企業が一定数生じています。学生が幅広く県内企業を知ってもらえるよう、それまで関心がなかった業界や企業を含めた、多くの企業の説明を聞いてもらえるようなイベントになるよう、内容の工夫が課題です。</li> </ul>
4	仕様書全般	県が保有する既存リソースの活用：	県が既に提携している大学や、既存の学生DB（N-career等）への直接的なアプローチや連携は、委託業務の範囲内でどの程度可能ですか？	<p>本業務の実施に当たり、受託者には以下の情報提供・連携が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生のU・Iターン就職促進に関する協定 (<a href="https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shigototeijyu/1356829508726.html">https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shigototeijyu/1356829508726.html</a>) を締結する県外大学等の連絡先</li> <li>過年度の所在地別大学等への進学状況（進学先学校名のみ）</li> </ul> <p>なお、これ以外については、情報の利用目的や必要性等を踏まえ、判断します。</p>
5	仕様書	3（3）参加促進のための取組	対面イベントを行う場合の場所の貸出：首都圏等で対面開催の場合、THE NIIGATAや渋谷QWSを県名義でお借りすることは可能ですか？	会場に空きがある場合等は可能です。
6	仕様書別添1	1-(2)開催方法	「オンライン」とありますが、録画配信型でも良いのでしょうか？	<p>ライブ配信を想定していますが、県と協議の上、録画配信型も可能です。ただし、事業効果の測定に必要な情報を取りまとめるため、以下のすべての項目が収集・計測できる仕組みとしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント申込者にはいがた暮らし・しごと支援センターへの登録を必須とするため、登録に必要な個人情報</li> <li>録画配信の場合、視聴した実人数</li> <li>本事業に参加した県内企業が実施するインターンシップ等への参加希望者の個人情報及び希望人数（企業別に集計すること）</li> </ul> <p>また、仕様書に記載する参加学生の集客目標を達成できる企画を提案してください。</p>

令和8年度県外学生と企業の交流機会創出業務  
プロポーザル競技に係る質問事項への回答

No.	資料名	該当箇所	質問内容	回答
7	仕様書別添1	1-(5) 参加学生の集客目標	過去3年の実績を教えてくださいませんか。	<p>本事業は令和6年度からの取組となるため、同名事業の実績は過去2年分のみとなります。</p> <p>【R6】 ○インターンシップ等オンラインマッチングイベント 実績 147人（夏季100人、冬季47人） ○にいがたUターン就職オンラインセミナー 実績 28名</p> <p>【R7】 ○インターンシップ等オンラインマッチングイベント 実績 209人（夏季153人、冬季56人） ○にいがたUターン就職オンラインセミナー 実績 24人 ※ほか、専門学校におけるクラス単位での参加あり（90名程度）</p>
8	仕様書別添1	2-(1) 企画立案	「当日企画として①参加企業による会社説明・インターンシップ等PRタイム」とは、例えばZoomならば1回20分～30分程度の企業説明をブレイクアウトルームで実施すること、と同じ意味でしょうか？ それとも、これとは別に会の冒頭などに短時間でPRタイムを設けるなどのことでしょうか？	Zoomのブレイクアウトルーム等を利用して、参加企業全社が同じ時間配分により、自社の説明・インターンシップ等の説明を行うことができる時間を設けることを指します。
9	仕様書別添1	2-(6) 特設サイト制作・運営	「県の指定するドメインを使用する」とあります。直近の県庁WEBサイト（ <a href="https://niigata-intern.pref.niigata.lg.jp/">https://niigata-intern.pref.niigata.lg.jp/</a> ）のような形式かと存じます。サイト制作にあたり、条件・制限などありましたら、ご教示ください。 それとも、受託者側サーバで運用し、サブドメインで運用できるよう、新潟県庁様にて設定いただけるというものでしょうか？	受託者サーバで運用し、サブドメインで運用できるよう、県側で設定します。なお、サブドメインの付与に当たり、受託者側で以下を満たす必要があります。 ・専用の回線等により、常時インターネットに接続されている環境が確保されていること。 ・運用管理者が設置されていること。
10	仕様書別添1	2-(7) 広報・申込受付	広報について、新潟県様として、「にいがた暮らし・しごとセンター」「にいがた鮭プロジェクト」に対しては、広報を依頼され、受託者側での計画や予算には含める必要はないと考えて良いでしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「にいがた暮らし・しごと支援センター」には、県から広報を依頼するため、受託者側の計画及び予算には計上不要です。</li> <li>・「にいがた鮭プロジェクト」については、イベントごとに、にいがた鮭プロジェクトサイト内バナー掲出、鮭プロ主催イベントでのチラシ配布（R7実績：約30～50部/回）、ふるさと応援便へのチラシ封入（R7実績：約500部/回）の依頼を県から行います。これ以外の広報を行う場合は、必要に応じて受託者側で予算計上し、広報実施についてにいがた鮭プロジェクト事務局へ依頼してください。</li> </ul>
11	仕様書別添1	2-(7)-オ その他広報	「RecruitmentAD for 新卒採用」というサービスでしょうか？ WEB検索をしても見つからなかったため、詳細やURLを教えてください。	「別紙 令和8年度県外学生と企業の交流機会創出業務委託仕様書」の「別添1 インターンシップ・仕事体験のオンラインマッチングイベント業務仕様書」2（7）オ及び「別添2 にいがたUターン就職オンラインセミナー業務仕様書」2（7）エの「RecruitmentAD for 新卒採用」を「ターゲットを就活生等に限定して配信できるWeb広告」に変更します。
12	仕様書別添1	2-(8)-イ 参加学生用資料	「参加ガイド」とは、どのような内容のものを想定されていますか？ 参加方法や手順であれば、「Web 会議システム操作等の説明資料」で賄えるのではないかと考えたためです。	Web会議システム操作手順のほか、イベント当日のスケジュール、参加企業の紹介（企業名、業種、所在地、企業概要の説明等）、参加に当たっての留意事項（参加中のカメラ・マイクのオンオフ、イベントにおける氏名表記など）、イベント終了後アンケートについての案内を掲載してください。

**令和8年度県外学生と企業の交流機会創出業務  
プロポーザル競技に係る質問事項への回答**

No.	資料名	該当箇所	質問内容	回答
13	仕様書別添1	2-(11) 企業向けインターンシップ等参加状況調査の実施	調査にあたっては、誰が自社の説明を聞いてくれたのが分かっている必要があると思います。イベント参加者の個人情報は、受託者から各社へ提供する必要がありますでしょうか？または取得は各企業の責任において、としますでしょうか？特に定めてはないでしょうか？	本事業では、イベントを通じてインターンシップ・仕事体験（以下「インターンシップ等」という。）へ参加した学生数をもって事業効果を測定していることから、本事業で行うイベントを経由してインターンシップ等へ申し込んだ人数が把握できる方法を受託者にて検討してください。なお、これまで実施した事業においては、イベント終了後の学生向けアンケートにおいて、インターンシップ等への申込意向を調査・集計の上、希望者の個人情報を受託者から該当企業へ提供していました。
14	仕様書別添2	1-(2) 開催方法	オンラインは、録画配信型でもよいでしょうか？ 一定期間いつでも見られるようにした方が、総参加学生数も増え、効果も上がるかと思ます。 または、ライブも実施した上での、アーカイブ配信でもよいでしょうか？	ライブ配信を想定していますが、県と協議の上、録画配信型や、ライブ配信とアーカイブ配信の複合型も可能です。 ただし、事業効果測定に必要なデータを取りまとめるため、以下のすべての項目が収集・計測できる仕組みとしてください。 ・イベント申込者にはいがた暮らし・しごと支援センターへの登録を必須とするため、登録に必要な個人情報 ・録画配信やアーカイブ配信の場合、視聴した実人数 ・本事業に参加した県内企業が実施するインターンシップ等の案内送達希望者の個人情報及び希望人数（企業別に集計すること）  また、仕様書に記載する参加学生の集客目標を達成できる企画を提案してください。